

祭典ニュース事務局 2020年2月17日

～ひかりにむかって～

被爆75年、広島で祭典を開催することの意義を確認し

平和のひかりを子どもたちへつないでいこう！

9日の全国実行委員会及び第3回広島実行委員会は、会場一杯の180名近くの参加者という中で開かれました。広島勢も60人近くが赤ジャンパーで、できたばかりの祭典イメージソング「ひかりにむかって」を会場を巻き込んで歌いました。

ひかりにむかって 詩・曲 植木俊郎 補詩・補曲 広島合唱団

広島でうたおう 一緒にうたおう
子ども大人も 平和の歌を
被爆七十五年の 広島のを
愛と平和のうたごえで あふれさせよう
夢やねがいを 高くかか
声かけあって進もう ひかりにむかって

ヒロシマをうたおう みんなでうたおう
広がれ世界に 平和のハーモニー
核兵器のない地球は みんなのねがい
心合わせてうたおう とどけよう歌を
夢やねがいを 高くかか
手を取りあって進もう ひかりにむかって

夢やねがいを 高くかか
肩を組んで進もう ひかりにむかって

各委員会からの提案

●企画委員会・・・

大音楽会 (11/22)

第1部は、全国和太鼓合同から始まり、障がい児・者の方々と共に勇壮な雰囲気開幕します。小・中学生の姉弟による音戸の舟唄、女声合唱、男声合唱、青年のうたごえ、そして、広島朝鮮学園舞踊部の華やかな舞踊へと続きます。

第2部は、平和の歌を発信します。「鳥の歌」などの後は、NPTニューヨーク行動参加者のうたごえ、被爆者のうたごえ、子どもたちの「アオギリのうた」、青年合同のうたごえと歌い継ぎます。

第3部は、スペシャルゲストの普天間かおりさん、キム・ウォンジュンさんのステージ。第4部は、今回のもう一つの目玉である、オーケストラと歌う、地元や

全国からの参加者によるステージです。「フィンランディア」・「大地讃頌」・「アメイジング・グレイス」の大合唱で会場を包みます。

記念音楽会 (11/21)

オープニングは、笛と太鼓による共演。次に、音戸の舟唄保存会の方に踊り、お囃子、歌などを披露。混声合唱のためのレクイエム「碑」^{いしづみ}最終章、この音楽会のために混声4部に書き下ろされた作品「ひろしまへ」(アーサー・ビナード詩、中村暢之作曲)、ピアノ演奏は小蔦寛二・花結^{はなゆ}夫妻の連弾、日本のうたごえ合唱団と太田真希さんの演奏、沖縄の「みるく世がやゆら」の演奏、合唱組曲「こわしてはいけない」から2曲の演奏、広島センチュリー管弦楽団による演奏、そして、エンディングは、オーケストラと「We Are The World」を合唱します。

その他、11/22 大音楽会が終わった後は、特別音楽会(ゲスト…普天間かおり、キム・ウォンジュン、井上 鑑^{あきら})、大うたう会も開催します。最終日 11/23 には、碑めぐりうたう会、被爆電車などの特別プロジェクトも企画中です。盛りだくさんの内容です。どこに参加しても楽しんでいただけること間違いなしです。

●事業委員会…2日間コーヒーの販売に工夫を凝らして取り組みました。200杯完売。PRの場面でも、寸劇あり歌ありで、会場はあたたかい雰囲気になりとても和みました。巴屋清信のクリームせんべい「宮島さん」も2日間で150袋を完売。他にもTシャツ、トートバッグ、クリアファイル等の祭典グッズを準備中。

●組織委員会…賛同募金は250万円を超えました。実行委員会当日、音戸ファミリーコーラス・Kさんから受け取ったのは特別賛同金20口分を含む大袋！心強いご支援に一同勇気百倍です。目標まであと150万円…今からが正念場。チラシ、募金用の大小の封筒などは常に手元に備えてみんなで頑張りましょう。

祭典に向けて、あらためて気合の入った実行委員会になりました。みなさん、一緒に進んでいきましょう！！